



◎SFAの理念

サッカー（フットサル・パラフットボールを含む）を通じ、県民の心身の健全な発達と静岡県のスポーツの振興に貢献し、豊かなスポーツ文化を醸成する

◎SFAのビジョン

- サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる
- サッカーの強化に努め、静岡県代表が日本で、世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える
- 常にフェアプレーの精神を持ち、国内、さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する

◎[2026年度の重点目標]

1. 競技力向上と一貫指導体制の確立

各年代の強化を図るとともに、強化事業（国スポ・海外遠征・国際大会）を柱とした一貫指導を推進し、全国・国際水準で活躍できる選手の育成を目指す。

2. 育成年代・指導者育成の充実

キッズからユース年代までの育成環境を整備し、指導者・審判の育成と資質向上を通じて競技全体の底上げを図る。

3. 普及活動の推進と競技人口の拡大

キッズ・女子・シニア・障がい者を含む幅広い層への普及を推進し、生涯スポーツとしてのサッカー・フットサルの定着を目指す。

4. 女子サッカー・多様性の推進

女子サッカーの競技力向上と環境整備を進め、誰もが安心して参加できるインクルーシブな競技環境を構築する。

5. 競技運営・審判体制の強化

審判員の育成と定着を図り、公正で円滑な大会運営を通じて競技の価値向上に努める。

6. 協会運営基盤の強化と持続可能な組織づくり

ガバナンスの強化、DXの推進、財務基盤の安定化により、持続可能で信頼される協会運営を実現する。

《具体的な取組》

1. 育成・強化

- ① 種別を超えたチーム静岡で、2種・3種・4種・女子の競技力向上を図る。
- ② 育成年代(U-15)の強化及び人材養成を目的に、静岡ゴールデンサッカーアカデミー2026「静岡ユース(U-15)サッカー選手権大会」を開催する。
世界レベルを体感し、国民スポーツ大会に向けた強化を図る
- ③ 2026「SBS カップ国際ユースサッカー」を開催し、同年代の世界トップレベルとの戦いを通して、静岡県ユース年代の強化を図る
- ④ 国民スポーツ大会3部門(少年男子・少年女子・成年女子)の青森大会出場と、本大会での成果を挙げるため、技術委員会を中心に強化を図る
- ⑤ 女性ユースダイレクターを中心に、アカデミーフェスティバルの開催等、女子ジュニアユース年代の育成と強化を行う
- ⑤ ヤングサッカーフェスティバルを開催し、令和7年度同様キッズ～2種の育成年代の指導者の交流を図る

2. 指導者養成

- ① 指導者養成講習会開催
 - ・FA コーチを中心としたB級指導者講習会を静岡FAで開催する
 - ・C級指導者については2026年度は4種指導者向けコースとする。
名称：2026 Cライセンス講習会 FAコース(4種指導者向け)
 - ・D級指導者講習会の充実を図る
 - ・女性ユースダイレクターを中心に、女性専用C・D級講習会を開催する。
- ② 人材育成の充実を図る
 - ・静岡ゴールデンサッカーアカデミー、SBS 国際ユースサッカー開催時に、JFA・Jリーグとの連携により指導者研修(技術・審判)の場を提供する
- ③ リフレッシュ研修、FA コーチによる登録チーム巡回・地区トレセン訪問等の場で、情報の共有・指導技術の更なる向上を図る

3. 普及

- ① キッズ・2種・3種・4種・女子の各世代のチームが集う「ヤングサッカーフェスティバル」を開催し、選手・指導者の交流を深める
- ② Jリーグアカデミースタッフ・シニア委員会等と連携した「しずおか学校訪問プロジェクト」の実施により、サッカーの楽しさ・魅力を伝え、登録拡大を図る

2026年度 重点目標・具体的取組

SHIZUOKA PREF. FOOTBALL ASSOCIATION

- ③ 各世代種別に応じたフェスティバル（シニア、パラフットボール、キッズ、ガールズ等）やフットボールデー・巡回指導等の実施により、だれもがサッカー・フットサルの楽しさ・魅力に触れる機会を創出し、サッカーファミリーの拡大を図る
- ④ ウェルフェアオフィサー（ジェネラル・クラブ・マッチ）拡大に向けた研修会の実施により、安心してサッカーに楽しめる環境を整備する
- ⑤ サッカー応援（協賛）企業との連携により、普及・登録拡大を図る
- ⑥ 部活動地域移行に関する情報収集と今後のSFAとしての方策の検討

4. 女 子

- ① 県と連携し女性ユースダイレクターを中心に、幅広い育成・強化・普及を図る（アカデミーフェスティバルの開催）
- ② 青森国民スポーツ大会を目指し強化を図る
- ③ 女子ジュニア年代、ユース年代での顕著な活躍を継続していくため、指導者相互の研修を推進する
- ④ 将来のWEリーグ参入を目標にした運営基盤整備の推進
- ⑤ SBSカップ、ヤングサッカーフェスティバルでのU-16女子の試合実施
- ⑥ なでしこひろば、ガールズフェスティバル、女子チームのロードマップ配布等により登録拡大を図る

5. 審 判

- ① 各種大会を活用し審判員の育成・強化・普及に努める
- ② 審判指導者の育成・強化に努める
- ③ ユース年代（女子含む）の審判員の普及・育成に努める
- ④ JFAと連携し国内のトップレベルの審判員を輩出する

6. フットサル

- ① 各種別のリーグ戦について充実した運営を行い、競技志向チームの増加や県内チームの競技力向上を図る
- ② 各種別の選抜活動を継続的に行い、選抜大会での好成績と共に指導者の育成や選手個人の競技力向上を図る
- ③ 全国大会や招待大会の誘致を行い、大規模大会の運営力を備えた組織作りを目指す
- ④ フットサル登録の拡大を目指し、4種を中心にフットサルフェスティバルなどの普及事業を行う
- ⑤ Fリーグアグレミーナ浜松の支援とともに、静岡県内から日本女子フットサルリーグ（WFリーグ）参入を目指すチームの輩出へ向けた活動を継続

7. パラフットボール

- ① 障がい児・者が「いつでも！気軽に！楽しく！」参加できるサッカー競技の普及を推進し、スポーツの楽しさ・やりがいを体感できるようにする。
 - ・7つの障がい者サッカー競技団体の強化・普及活動の支援
 - ・静岡チャレンジドサッカーフェスティバルなどの障がい者サッカー大会や交流大会、パラフットボール教室の実施
 - ・静岡県における障がい者サッカー全体の窓口
- ② クラブ・地域・一般市民との相互交流を行うことで、障がい児・者の社会参加を促進するとともに、県や市町、関係機関と連携して障がい者サッカーに対する理解の拡大を図る。
 - ・HP や SNS 等による主催事業の発信
 - ・学校や企業における体験会や講演会の実施

8. 国内競技会・フェスティバル

- ① 国際試合の開催
 - ・2026SBS カップ国際ユースサッカー
 - ・GSA2026【静岡ユース(U-15)サッカー選手権大会】
 - ・ジュビロ U-12 国際サッカー大会2026
- ② 天皇杯、皇后杯の開催
- ③ JFA 全日本 O-40 サッカー大会
- ④ JFA 全日本 O-30 女子サッカー大会
- ⑤ JFA 全日本 U-15 女子サッカー選手権大会
- ⑥ JFA 全日本フットサル選手権
- ⑦ JFA 全日本女子フットサル選手権
- ⑧ JFA フェスティバル開催(普及推進)

9. 施 設

- ① エコパ（小笠山総合運動公園）第5期指定管理受託
- ② エコパの指定管理事業の効率かつ効果的な運用

10. リスペクト推進、ガバナンス・コンプライアンスの強化

- ① リスペクト活動の推進
 - ・ウェルフェアーオフィサー講習会の開催
 - ・各事業におけるリスペクト・フェアプレー活動の推進
- ② 不祥事根絶のための、各種規程・規則の徹底
- ③ JFA暴力等根絶相談窓口の活用（規律裁定委員会）
- ④ 暴力暴言の根絶

11. 広 報

- ① V e oカメラを使用した試合配信
- ② HP・SNS を活用し、事業の積極的な発信
- ③ メディアへの情報提供(事業のプレスリリース)
- ④ JFA サッカー応援番組への協力